

令和2年1月24日
九州地方整備局九州の「道の駅」2箇所 新たに**重点「道の駅」**に選定！！

～ 地方創生の核となる「道の駅」の優れた取組を応援します ～

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国土交通省では、関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた企画を選定し、重点的に応援する重点「道の駅」の取組を実施しています。

九州地方整備局管内では新たに重点「道の駅」として**2箇所**、重点「道の駅」候補として**3箇所**を選定しましたのでお知らせします。

○重点「道の駅」

今後の施設整備に向け、駐車場や休憩施設等は社会資本整備総合交付金等で重点支援するとともに、自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、ハード・ソフト両面から支援。

- 宮崎県 くしま 串間市 道の駅「くしま」(仮称)
みやこのじょう 都城市 道の駅「都城」

○重点「道の駅」候補

自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、主にソフト面から支援。

- 福岡県 むなかた 宗像市 道の駅「むなかた」
くるめ 久留米市 道の駅「くるめ」
- 大分県 ぶんごおの 豊後大野市 道の駅「みえ」

<問い合わせ先>

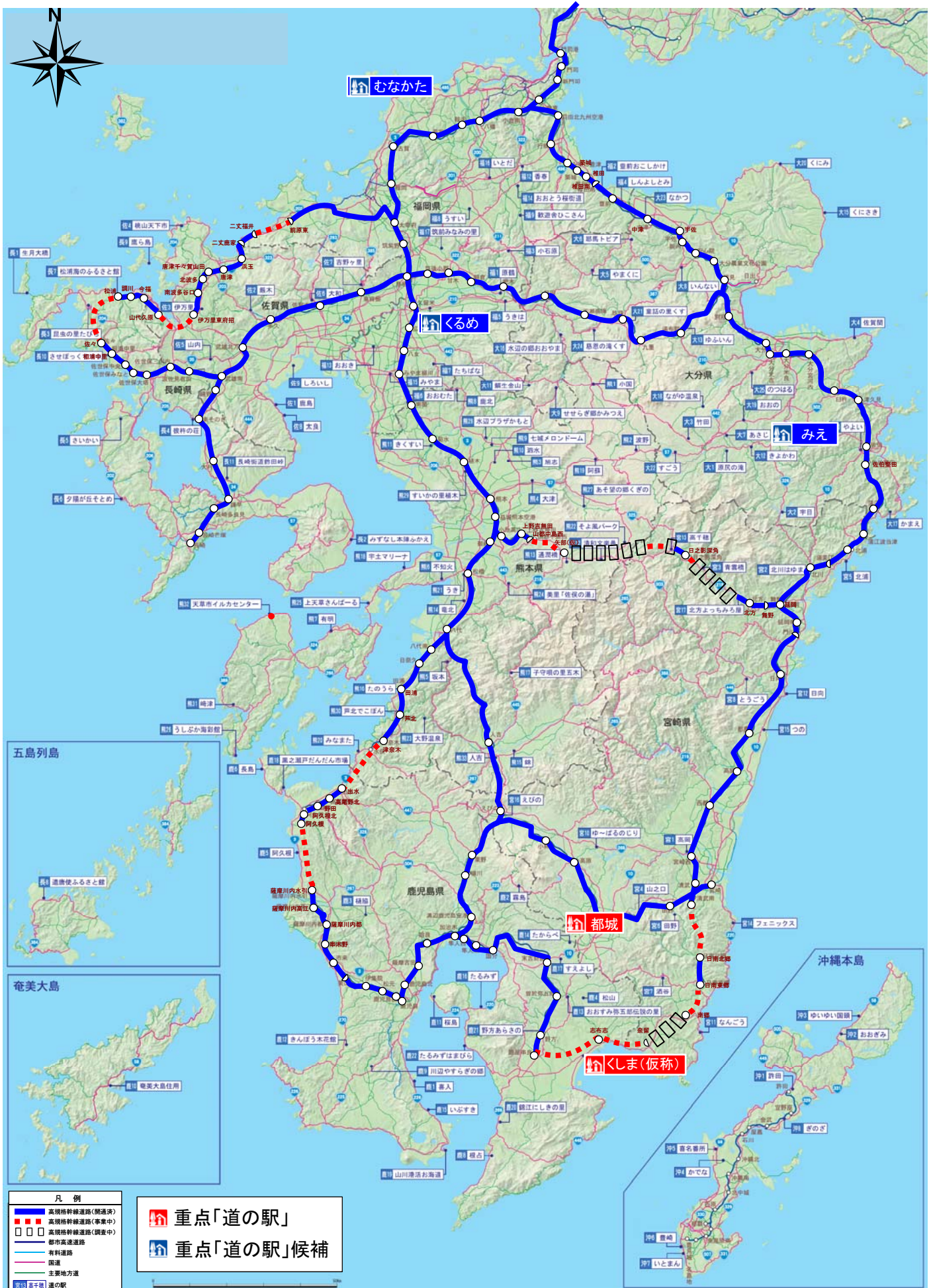
国土交通省 九州地方整備局 道路部 交通対策課長

交通対策課長補佐

ながとしんたろう
永利信太郎りゅうひろふみ
龍博文

電話番号：092-471-6331(代表)

九州地方整備局管内「道の駅」位置図



○重点「道の駅」選定駅（2箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
1	宮崎県	串間市	くしま(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ○交流イベントや子育て支援、道守等の地域活動との連携、地域団体のまちなか観光案内により、中心市街地の賑わいを創出するとともに、あらゆる世代が活躍・交流できる地域センター化を目指す ○広域交通の結節点として、公共交通機能の集約と防災機能の強化を図る ○周辺道の駅との交流・連携、サイクリングの拠点施設により、周遊観光の促進と新たな観光需要の拡大を目指す
2	宮崎県	都城市	都城	<ul style="list-style-type: none"> ○物産振興と交流人口の拡大による地域活性化 ○都城広域定住自立圏(3市1町)内の道の駅ネットワークを構築し、圏域全体の産業活性化

○重点「道の駅」候補 選定駅（3箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
1	福岡県	宗像市	むなかた	<ul style="list-style-type: none"> ○市内外の観光情報の一元化、風景街道との連携により周辺資源の景観、自然、歴史を発信、インバウンドにも対応した情報発信拠点を形成 ○子育て支援施設を充実し、「子育て世代の拠点化」を形成
2	福岡県	久留米市	くるめ	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内大規模の集客施設を活用し、「人・モノ・カネ・情報」の循環を生み出すハブ施設にリノベーション ○大型屋根の整備、交流研修室の建替等により、「交流・地域情報の受発信拠点」としての機能強化 ○交流拠点、農産物の販売所の拡充、農業体験や観光情報などの総合窓口、災害時の避難所などに活用
3	大分	豊後大野市	みえ	<ul style="list-style-type: none"> ○「ジオパーク・エコパークのまち」の中心拠点として、情報発信を充実 ○道の駅を道守・風景街道の活動拠点として活用し、多様な世代間の交流を促進 ○子供を中心とした交流空間を充実し、子供の交流促進と子育てに関する情報を発信 ○南海トラフ巨大地震に備えた地域防災拠点として整備

道の駅「くしま(仮称)」(宮崎県串間市) 企画概要 <新設>

- 交流イベントや子育て支援、道守等の地域活動との連携、地域団体のまちなか観光案内により、中心市街地の賑わいを創出するとともに、あらゆる世代が活躍・交流できる地域センター化を目指す
- 広域交通の結節点として、公共交通機能の集約と防災機能の強化を図る
- 周辺道の駅との交流・連携、サイクリングの拠点施設により、周遊観光の促進と新たな観光需要の拡大を目指す

次世代観光拠点の形成 隣接県の道の駅との交流、JNTO認定外国人観光案内所カテゴリー2を目指す	風景街道・道守との連携 風景街道・道守の地域活動の連携や清掃・緑化活動や市民交流を支援	高速道路との連携 バス等の発着拠点や、バスの運行情報の提供等、交通結節機能を強化	子育て支援 子育て世代の交流の場として、支援施設やサポート体制を充実させる	防災機能の充実 災害発生時の情報提供、避難場所の機能を確保。BCP策定や防災訓練。
--	--	---	--	--



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
くしま(仮称)	宮崎県	串間市	国道220号	新設	令和3年	一体型



公共交通機能の集約と防災機能の強化

コミュニティバス路線図

・避難場所
・BCP策定、防災訓練等



<提案の先駆性・ポイント>

- 隣接市域を含めた交流イベントや子育て世代への支援を促進し、「子育てしやすいまち・住みよいまち」の拠点をを目指す。更に、風景街道や道守の地域活動との連携、地域団体によるまちなか観光案内等、あらゆる世代が活躍・交流できる地域センター化を目指す。
- 広域交通の結節点として、公共交通機能の集約と防災機能を強化する。
- 県境の道の駅として、隣接県の道の駅との交流・連携やサイクルツーリズムの促進により、周遊観光の促進や新たな観光需要の拡大を目指す。

<実施内容>

- 屋根付きイベント広場の整備及び市民団体と行政の協働によるイベントの開催。
- 24時間利用可能なベビーコーナーや妊婦向け優先駐車スペースを整備。
- 子育て支援コーナーや市民談話室などを備えた市民交流施設を整備。
- 道の駅を中心として市街地回遊ルートに、新たなモビリティサービスの導入を検討。
- 地域団体によるまちなか案内や、道守による清掃及び緑化活動を実施。
- 周辺地域や観光地域とを結ぶコミュニティバスの運行拠点としての機能を整備。
- コミュニティバスを道の駅へ集約し、バスロケを活用したバスの運行案内を行う。
- 道路利用者等の避難場所として機能を確保し、BCP策定や防災訓練を行う。
- 隣接県の道の駅との交流・連携、サイクリストへの休憩施設の提供や情報発信等。
- 風景街道団体や周辺道の駅と連携したサイクルツーリズム観光の拠点となるサービスを提供。

道の駅「都城」(宮崎県都城市) 企画概要 <既設>

「肉と焼酎のふるさと・都城」の物産振興拠点として、道の駅都城を大幅リニューアル

○物産振興と交流人口の拡大による地域活性化

○都城広域定住自立圏(3市1町)内の道の駅ネットワークを構築し、圏域全体の産業活性化

次世代観光拠点の形成

南九州の玄関口として、市内及び南九州一帯への周遊促進

JNTO認定外国人観光案内所カテゴリー2を目指す

風景街道・道守との連携

道守と連携した施設や沿道の清掃・植栽活動
風景街道への登録及び連携

高速道路との連携

都城IC近傍のロケーションを活かした休憩所
将来供用予定の地域高規格道路都城志布志道路のIC近傍のロケーションを活かした休憩所

子育て応援

子育て支援機能、子供向けスペースの整備
授乳室整備、おむつ個別販売
子育て世代向け育児相談会等の開催

物産振興を通じた産業振興の拠点



物産振興を通じて地域の稼ぐ力を強化

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
都城	宮崎県	都城市	国道10号	既設	平成13年	一体型

都城広域定住自立圏(※)内の道の駅ネットワーク構築

※3市1町で構成
宮崎県都城市
〃 三股町
鹿児島県曾於市
〃 志布志市



- 道の駅都城
- 道の駅山ノ口
- 道の駅たからべ
- 道の駅すえよし
- 道の駅おおすみ弥五郎伝説の里
- 道の駅松山
- 三股町物産館よかもんや

道の駅を核とした
物産交流、観光情報発信

圏域全体の産業活性化

<提案の先駆性・ポイント>

- 「日本一の肉と焼酎」をはじめとした物産振興を通じた産業振興の拠点
- 都城広域定住自立圏(3市1町)内の6つの道の駅及び1つの物産館で構成する道の駅ネットワークの構築
- 南海トラフ巨大地震等の発生時に、後方支援体制を構築するための機能強化

<実施内容>

- 既存(H13)の小規模の道の駅を大幅に拡大・リニューアル
- 物産販売、飲食提供、加工・料理体験、特産品開発支援、大都市圏への物産営業等
- ネットワーク内の各駅の物産を販売するとともに、観光情報の共有、各駅の紹介を通じた圏域内の周遊促進等
- 高速ICに近く内陸に位置することから南海トラフ地震時には、宮崎県南の沿岸市町への後方支援の防災活動拠点として機能
- 地元大学(園芸学部)や高校と連携した施設整備やアンテナショップ、花壇植栽整備を実施
- 林業や家具製造業など地域産業を活かした子育て支援施設を整備

<参考>令和元年度重点「道の駅」公募概要

公募概要

- 地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を公募
- 優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものを選定

公募期間と選定の流れ

- 令和元年8月8日(木)～11月8日(金)

企画提案書の提出

各地方整備局等から推薦

企画提案の評価・選定
(有識者意見を踏まえ実施)

重点「道の駅」の選定

- 重点「道の駅」は全国で15箇所、
重点「道の駅」候補は全国で15箇所を選定

支援内容

<ハード的な支援>

- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、社会資本整備総合交付金(直轄国道以外)及び交通安全施設等整備事業(直轄国道)の重点配分等により国交省が支援

<ソフト的な支援>

- 自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を構築。

選定にあたり優先的に評価する事項

- 重点「道の駅」候補からの企画提案
- 以下に関する企画提案
 - ・次世代観光拠点の形成(DMOとの連携、インバウンド観光)
 - ・風景街道・道守との連携
 - ・高速道路との連携
 - ・子育て応援
- 完成年が古い駅のリニューアル

その他

- 計画的な企画検討を促進する観点から、今後も毎年、公募を実施することを予定

令和 2年 1月 24日
道路局 企画課

令和元年度 重点「道の駅」を選定しました！ ～地方創生の核となる「道の駅」の優れた取組を応援します～

「道の駅」は、地方創生を具体的に実現していくための極めて有力な手段であり、国土交通省では、関係機関と連携して、地方創生の核となる特に優れた企画を選定し、重点的に応援する重点「道の駅」の取組を平成26年度から実施しています。

令和元年度は、地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を募集し、30件の応募がありました。

この度、企画提案内容を確認し、有識者等のご意見を踏まえ、重点「道の駅」及び重点「道の駅」候補を選定しました。

1. 選定結果

①重点「道の駅」(国土交通大臣選定): 15箇所

今後の施設整備に向け、駐車場や休憩施設等は社会資本整備総合交付金等で重点支援するとともに、自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、ハード・ソフト両面から支援

②重点「道の駅」候補(地方整備局長選定): 15箇所

自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等についてワンストップで相談できる体制を構築するなど、主にソフト面から支援。

2. その他

- ・ 後日、選定証を交付する場を開催する予定です(別途お知らせします)。

<問い合わせ先>

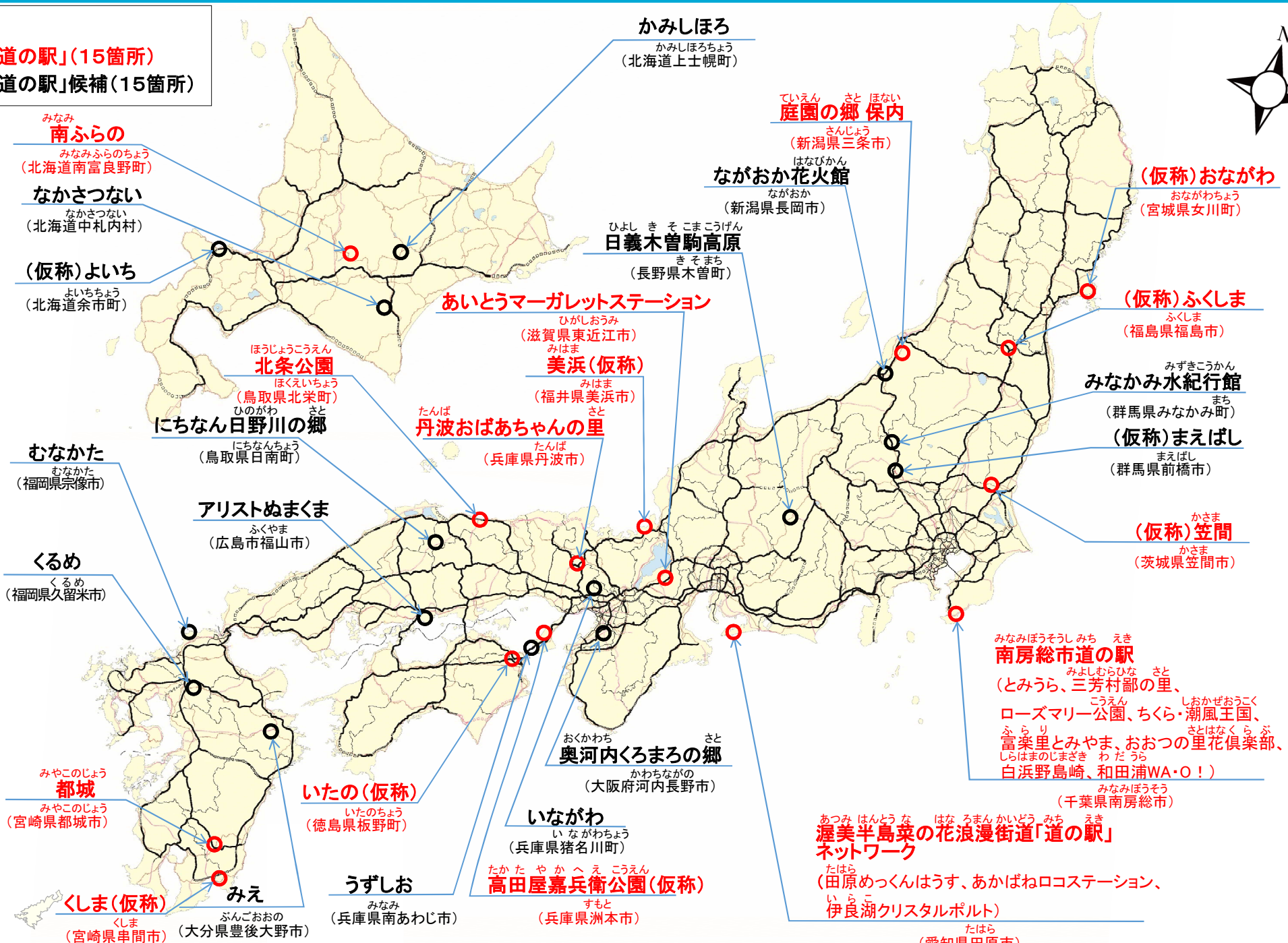
国土交通省 道路局 企画課 ひがし なかむら 東・中村 (内線:37552、37558)

代表(03)5253-8111 直通(03)5253-8485 FAX(03)5253-1618

令和元年度 重点「道の駅」選定結果

凡例

- 重点「道の駅」(15箇所)
- 重点「道の駅」候補(15箇所)



令和元年度 重点「道の駅」選定駅（15箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
1	北海道	南富良野町	南ふらの	<ul style="list-style-type: none"> ○国内有数の体験型観光のフィールドとして、シーニックバイウェイ(日本風景街道)とも連携し、インバウンドを含めた顧客層の多様化に対応した情報発信拠点の整備 ○都市間バスやデマンドバスの交通結節機能を強化し、定住環境維持に寄与 ○おむつや液体ミルクの備蓄により、子育て世代も安心の防災拠点整備
2	宮城県	女川町	(仮称) おながわ	<ul style="list-style-type: none"> ○JR女川駅を中心にコンパクトな市街地を形成し、JR、国道398号、レンガみち等の交通結節点である女川駅前商業エリアを公民連携による運営体制の「道の駅」として、人の流れを集約化し回遊性を高める ○地域観光・震災復興・地域交流の拠点化を図り、交通案内、インバウンド誘客推進、レンタサイクル、震災復興の歩みの伝承、子育て世代への環境整備等により、一体的なサービス提供を行う ○スマートモビリティ活用と充電インフラ整備の両面から地域課題解決と持続可能な低炭素社会構築を推進
3	福島県	福島市	(仮称) ふくしま	<ul style="list-style-type: none"> ○「高速交通網の結節点」という地の利を活かし、東日本大震災・原子力災害からの復興の象徴として、人口減少社会に対する持続可能な地域づくりのため、道の駅を『『実・湧・満・彩』の地域振興の拠点』として位置付け、「集客・交流の新たな拠点」「情報発信の新たな拠点」「地域産業の新たな拠点」の3つの柱とする ○道の駅敷地内に快適で「木質感溢れる(CLT活用)屋内こども遊び場」や24時間利用可能な授乳コーナー、おむつ交換スペースを整備し、地域の子育て世代を応援するとともに、子ども連れの道路利用者への休憩機能を補完する ○平成30年に実施した「東北中央道と『道の駅』の活用による地域活性化社会実験」結果を踏まえ、レンタサイクル(電動アシスト自転車)を整備し、通称「フルーツライン」周辺の果樹畑の景観や日本風景街道登録ルート等の地域資源を活用したサイクルツーリズムを展開する
4	茨城県	笠間市	(仮称)笠間	<ul style="list-style-type: none"> ○ODMOと連携し「笠間」のゲートウェイとして、インバウンドに対応した新たなシステムの導入による観光拠点の形成 ○高速道路と鉄道(駅)と連携した公共交通等の集約による交通結節機能の強化 ○大学との連携による子育て世代の支援と人材育成の推進 ○官学が連携し、主要産業である農業振興の強化
5	千葉県	南房総市	とみうら等 (8駅)	<ul style="list-style-type: none"> ○次世代型「道の駅」を目指す南房総市の挑戦 ○次世代型道の駅推進体制の確立と新たな「地域ビジネス」と「地域の稼ぐ力」の創出 ○市内8つの道の駅の強靱化×地域創生ビジネスネットワーク×老朽化道の駅のリニューアルによる自律的で持続的な魅力あふれる南房総に
6	新潟県	三条市	庭園の郷 保内	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の特性を活かした子育て世代応援事業及びインバウンド観光強化の実施

令和元年度 重点「道の駅」選定駅（15箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
7	愛知県	田原市	田原 めっくんはうす等 (3駅)	<ul style="list-style-type: none"> ○日本風景街道「渥美半島菜の花浪漫街道」にある3つの「道の駅」が連携し、サイクリストの受入拠点、次世代観光の情報発信拠点としての整備を実施 ○これにより日本風景街道第3次アクションプラン「自転車道の活用と整備」等を推進しナショナルサイクルルートの指定に向けた太平洋岸自転車道サイクリストの受入れや、インバウンド観光を促進
8	福井県	美浜町	美浜(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ○2023年春の北陸新幹線敦賀開業を見据え、JR美浜駅前という立地を活かし、道の駅を拠点として美浜町の様々な情報を発信する。さらに、道の駅のみならず、JR美浜駅前を含む周辺開発も進め、一体的に地域活性化の拠点整備を図っていく ○一時預かり機能を有する子育て交流施設を整備することで、子育て世代の育児環境を整え、人口減少に歯止めをかける ○美浜町が誇るブランド「美浜熟成魚」や地元農産物等を活用した商品開発等に取り組み、第一次産業の推進を図る
9	滋賀県	東近江市	あいとう マーガレット ステーション	<ul style="list-style-type: none"> ○道の駅を核にした農業体験型「ガーデンビレッジ」によって、特色・魅力ある地域の拠点づくりを目指す ○農業のレジャー化やイメージチェンジによって、新たな就農者(農業女子)の確保と交流人口を増大させ、農業・農村を活性化させる ○道の駅を広域観光の拠点とし、農業・歴史・文化を体感できる観光のルート化によってインバウンド等の観光客を増大させる ○農業体験メニューの充実により、親子がふれあい、土に親しみ、収穫の喜びや楽しさを感じることで子どもたちの感性や情操を育む ○子育て支援機能を充実し、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進を図る
10	兵庫県	丹波市	丹波おばあちゃん の里	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎機能の向上を図り、ゲートウェイ機能を強化する ○ロードサイドホテルの誘致により、新たな来訪者(訪日外国人を含む)の受入を推進する ○観光情報センターを整備し、北近畿・丹波市内の周遊観光を推進する。 ○恐竜遊具など「恐竜ちーたん公園」を整備し、親も子も楽しめる道の駅をめざす
11	兵庫県	洲本市	高田屋嘉兵衛公 園(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域連携DMOとの連携により、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」や御食国(みけつくに)淡路島の豊かな農水産物などの地域資源を活かした、周遊・滞在型観光、インバウンド観光を推進し、次世代観光拠点の形成を目指す ○淡路島中央スマートICを活用した高速道路との連携により、淡路島西海岸観光のゲートウェイ機能を強化 ○「アワイチ(淡路島一周サイクリングルート)」のゲートウェイ施設として、サイクリストの快適で安心な利用をサポートする機能を集約 ○ベビーコーナーや移住相談窓口の設置等により、子育て世代や移住希望者を応援

令和元年度 重点「道の駅」選定駅（15箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
12	鳥取県	北栄町	北条公園	<ul style="list-style-type: none"> ○オートキャンプ場併設の県内唯一の道の駅としてアウトドアエリアを核とした地域振興、子育て応援、防災対応を実施 ○山陰道(北条道路)と国道313号北条JCTの開通に合わせた再整備により、鳥取中部地域の周遊拠点となる道の駅へ ○高速道路を挟んだ南北双方の一体的な整備によりアクセスを容易に。防災・休憩拠点となる道の駅へ
13	徳島県	板野町	いたの(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ○日本版DMOであるイーストとくしま観光推進機構を活用した観光資源の発掘、訪日外国人観光客へのサポートなど、次世代観光拠点の形成を図る ○徳島自動車道と高松自動車道の2つのICに近接した立地を活かし、高速道路の連結拠点と休息機能を有する ○子育て支援を目的として各種サービスやベビーコーナー等の設置。高齢者、障がい者支援を目的とした各種サービスや福祉スペースの設置 ○広域拠点として地域防災計画に位置付け、災害時の広域避難場所や支援物資流通配給基地、また支援部隊等の支援基地としての機能、及び災害・ドクターヘリポートの整備など、防災「道の駅」への認定を目指す ○農業者の所得向上と6次産業化や新たな作物づくりへの意欲向上により、農業の継続と発展を図り、次世代の育成を支援 ○自動車の次世代エネルギーとして、EV急速充電器及び水素ステーションの設置
14	宮崎県	串間市	くしま(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ○交流イベントや子育て支援、道守等の地域活動との連携、地域団体のまちなか観光案内により、中心市街地の賑わいを創出するとともに、あらゆる世代が活躍・交流できる地域センター化を目指す ○広域交通の結節点として、公共交通機能の集約と防災機能の強化を図る ○周辺道の駅との交流・連携、サイクリングの拠点施設により、周遊観光の促進と新たな観光需要の拡大を目指す
15	宮崎県	都城市	都城	<ul style="list-style-type: none"> ○物産振興と交流人口の拡大による地域活性化 ○都城広域定住自立圏(3市1町)内の道の駅ネットワークを構築し、圏域全体の産業活性化

道の駅「(仮称)おながわ」(宮城県女川町) 企画概要 <新設>

- JR女川駅を中心にコンパクトな市街地を形成し、JR、国道398号、レンガみち等の交通結節点である女川駅前商業エリアを公民連携による運営体制の「道の駅」として、人の流れを集約化し回遊性を高める
- 地域観光・震災復興・地域交流の拠点化を図り、交通案内、インバウンド誘客推進、レンタサイクル、震災復興の歩みの伝承、子育て世代への環境整備等により、一体的なサービス提供を行う
- スマートモビリティ活用と充電インフラ整備の両面から地域課題解決と持続可能な低炭素社会構築を推進

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
(仮称)おながわ	宮城県	女川町	国道398号	新設	令和2年度	単独型



「道の駅おながわ」※全て町有地
 公民連携による運営により「地域観光・震災復興・地域交流の拠点化」を図る

道の駅おながわ運営協議会

- ◇シーパルピア女川: 商業施設 (運営: 女川みらい創造(株))
- ◇地元市場ハマテラス: 観光物産施設 (運営: 女川みらい創造(株))
- ◇女川町まちなか交流館: 交流施設 (所有者: 女川町 (指定管理者: 女川町商工会))
- ◇たびの情報館ぷらっと: 観光案内所 (運営: (一社)女川町観光協会)

<道路空間活用例>
 町民と利用者の交流



太鼓イベント



結婚式

<提案の先駆性・ポイント>

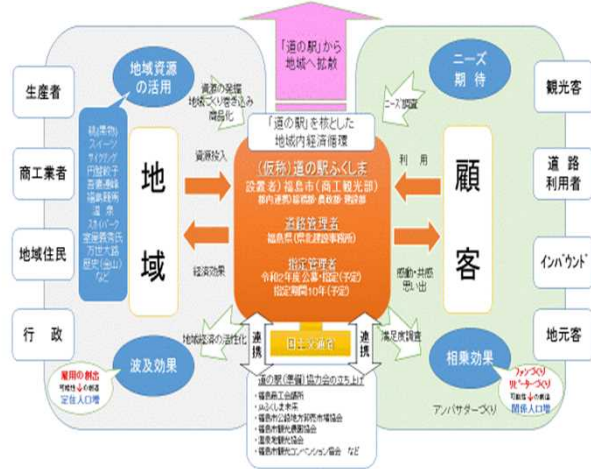
- JR、国道、レンガみち(歩行者道)、バス、離島航路の交通結節点にあり、人の流れを集約し、回遊性を高める
- 公民連携による運営体制を構築し、民間活力を最大限に活かし、地域観光・震災復興・地域交流の拠点化を図る
- スマートモビリティの活用と充電インフラ整備の両面から持続可能な低炭素社会の構築を推進

<実施内容>

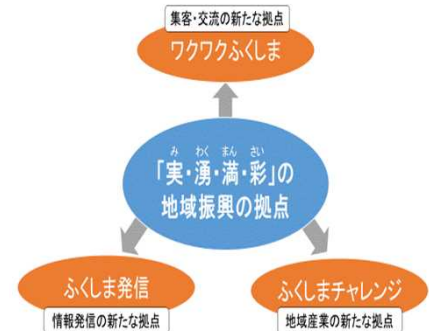
- 道路休憩機能と多様な交通手段の休憩機能に加え、地域観光、震災復興発信、地域交流の多彩な機能の拠点化を図る。
- 道の駅・バス・鉄道利用者等への案内、インバウンド誘客、レンタサイクル、空間活用によるイベント展開による地域観光と地域交流の拠点化
- 復興のあゆみ展や震災遺構による震災復興発信の拠点化
- スマートモビリティ社会システム実証プロジェクトに加え、電気自動車プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ整備を実施

道の駅「(仮称)ふくしま」(福島県福島市) 企画概要 <新設>

- 「高速交通網の結節点」という地の利を活かし、東日本大震災・原子力災害からの復興の象徴として、人口減少社会に対する持続可能な地域づくりのため、道の駅を『実・湧・満・彩』の地域振興の拠点として位置付け、「集客・交流の新たな拠点」「情報発信の新たな拠点」「地域産業の新たな拠点」の3つの柱とする。
- 道の駅敷地内に快適で「木質感溢れる(CLT活用)屋内こども遊び場」や24時間利用可能な授乳コーナー、おむつ交換スペースを整備し、地域の子育て世代を応援するとともに、子ども連れの道路利用者への休憩機能を補完する。
- 平成30年に実施した「東北中央道と『道の駅』の活用による地域活性化社会実験」結果を踏まえ、レンタサイクル(電動アシスト自転車)を整備し、通称「フルーツライン」周辺の果樹畑の景観や日本風景街道登録ルート等の地域資源を活用したサイクルツーリズムを展開する。



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
(仮称)ふくしま	福島県	福島市	主要地方道上名倉・飯坂・伊達線	新設	令和4年(予定)	一体型



サイクルツーリズムの展開(イメージ)

<提案の先駆性・ポイント>

- 東北自動車道と東北中央自動車道の結節点という特徴から、道路休憩機能を整備するとともに、『実・湧・満・彩』の地域振興の拠点として、地域産品等の紹介・提供等により集客・交流を生み出しながら、「道の駅」をゲートウェイとして、来場者を積極的に地域に送り出すことにより、持続可能な地域づくりを目指す。
- 道の駅建物本体とは別に「屋内こども遊び場」を約500㎡の別棟として、天候等に左右されることなく通年で遊べる場所を整備。子どもの健やかな成長を支援し、地域の子育て世代を応援するとともに、子ども連れの道路利用者への休憩機能を補完する。
- 東日本大震災の経験を踏まえ、道の駅敷地内に防災備蓄倉庫や40tの飲料水が貯水可能な耐震性地下貯水槽、太陽光を活用した電気供給設備を整備し、防災拠点機能を持たせることで、平時より災害に備える。

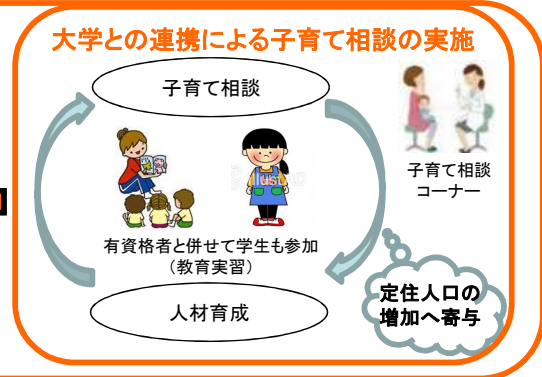
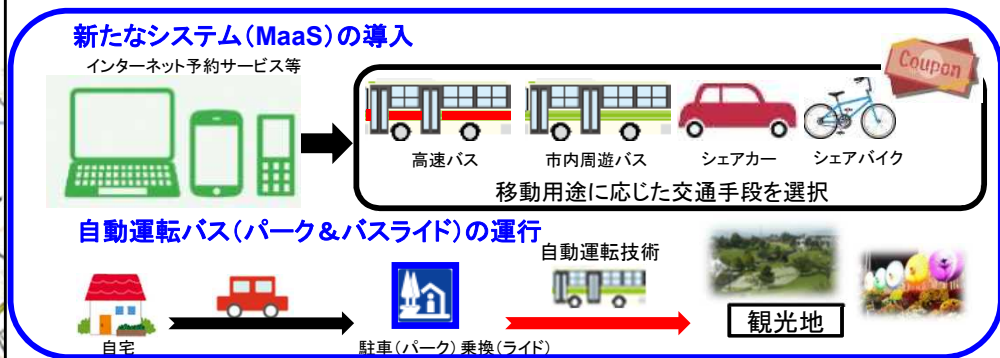
<実施内容>

- 道の駅に整備する飲食・物販施設に、市内事業者等のアンテナショップの機能を持たせるとともに、新商品のテストマーケティングの場としても位置づけ、新たなムーブメントが发起可能な地域産業の新たな拠点
- レンタサイクル(電動アシスト自転車)の整備、地域資源等を活用したサイクルツーリズムの展開、サイクリスト等への快適性提供のためのシャワールーム整備、観光コンシェルジュ等によるサイクリングモデルコース等の案内
- 観光コンシェルジュ等による旬な果物狩り情報や地域観光情報の紹介、インバウンド対応
- 屋内こども遊び場、授乳室、オムツコーナー、屋根付き思いやり駐車スペース等の整備
- EV充電設備、ドッグラン、多目的広場などの道路休憩機能の整備
- 防災備蓄倉庫、40tの飲料水が貯水可能な耐震性地下貯水槽、太陽光発電等の整備

道の駅「(仮称)笠間」(茨城県笠間市) 企画概要 <新設>

- DMOと連携し「笠間」のゲートウェイとして、インバウンドに対応した新たなシステムの導入による観光拠点の形成
- 高速道路と鉄道(駅)と連携した公共交通等の集約による交通結節機能の強化
- 大学との連携による子育て世代の支援と人材育成の推進
- 官学が連携し、主要産業である農業振興の強化

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
笠間	茨城県	笠間市	国道355号	新設	令和3年	一体型



<提案の先駆性・ポイント>

- DMOと連携した次世代観光拠点の形成
- 高速道路ICと鉄道駅との連携による広域ネットワークの形成
- 定住人口増加に向けた子育て世代の支援と大学との連携
- 大学や高校、農業公社との連携による農業振興

<実施内容>

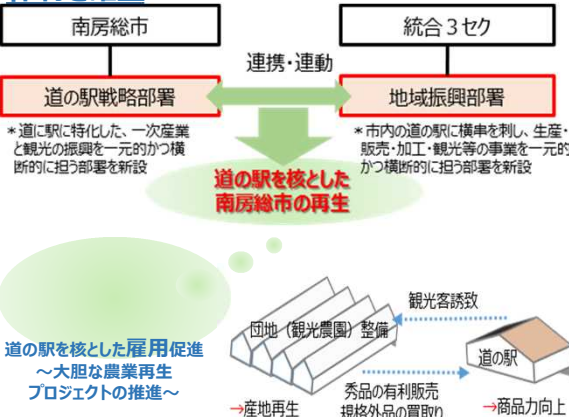
- インバウンドに対応した多様な交通手段(高速バス, 市内周遊バス, タクシー等)を一連で予約可能なシステムの導入(MaaS技術の活用)
- 周遊観光促進のための整備(自動運転バスの運行, パーク&バスライドの整備)
- 既存高速バス停の活用, 道の駅と各鉄道駅を結ぶ周遊バスの運行
- 子育て支援設備の充実, 常磐大学との連携による子育て相談の実施
- 常磐大学, 笠間高校, 農業公社等と連携した地場農産物を使った商品開発, 販売促進

南房総市道の駅（千葉県南房総市）企画概要

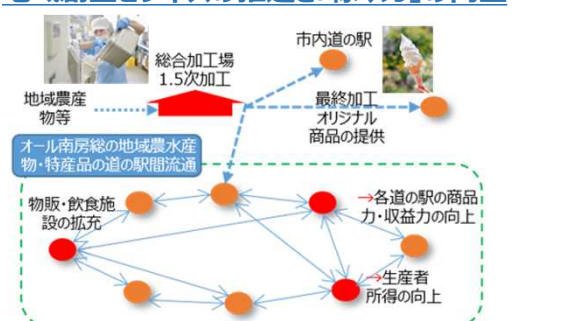
<既設>

- 次世代型「道の駅」を目指す南房総市の挑戦
- 次世代型道の駅推進体制の確立と新たな「地域ビジネス」と「地域の稼ぐ力」の創出
- 市内8つの道の駅の強靱化×地域創生ビジネスネットワーク×老朽化道の駅のリニューアルによる自律的で持続的な魅力あふれる南房総に

①行政と統合3セクによる次世代型道の駅推進体制を確立



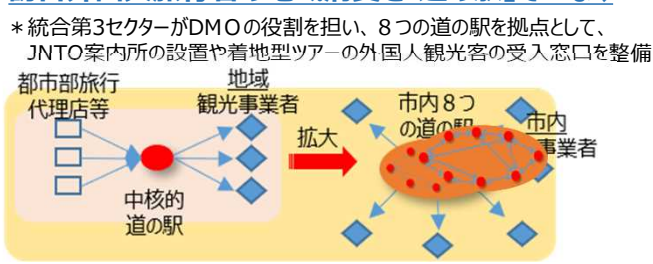
②「道の駅」を核に一次産業の高付加価値化！地域創生ビジネスの推進と「稼ぐ力」の向上



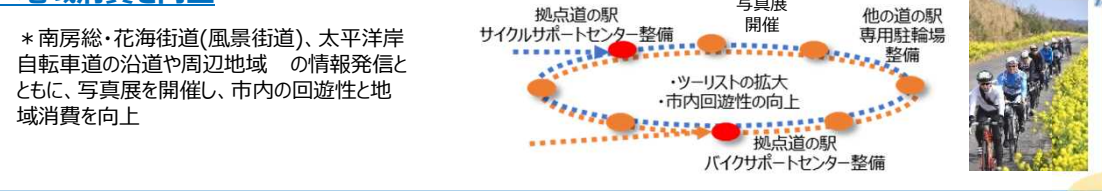
<提案の先駆性・ポイント>

- 3つの第3セクターの統合と道の駅戦略部署の創設による、1次産業と観光の振興を一元的かつ横断的に担う次世代型道の駅推進体制の確立と老朽化施設のリニューアルにより、次世代型道の駅に進化させ、地域ビジネスと地域の「稼ぐ力」を創出する。
- DMO機能の拡大によるインバウンド対応と回遊性の向上

③インバウンドを視野に次世代観光拠点を形成！訪日外国人旅行者の地域消費を「道の駅」でつなぐ



④サイクル・バイクツーリズムの回遊ルートの確立！風景街道との連携で、市内回遊性と地域消費を向上



⑤次世代型道の駅へのリニューアル



<実施内容>

- 第3セクター統合に向けた検討と準備、道の駅戦略部署の設置
- 総合加工場の整備(特産品とミルクを活用した加工品の製造)
- インバウンド観光の促進(JNTO案内所、免税店の設置、DMO機能の強化)
- 休憩エリアと直売所エリアの拡充により高速道路との連携を強化(ハイウェイオアシス富楽里 × 富楽里とみやま)
- 子育て応援機能の創設(24時間利用可能なベビーコーナーの設置)と防災ネットワーク化
- 老朽化施設の大規模改修

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
とみうら	千葉県	南房総市	国道127号	既設	平成5年	単独型
三芳村	千葉県	南房総市	県道88号	既設	平成5年	単独型
ローズマリー公園	千葉県	南房総市	県道297号	既設	平成10年	単独型
ちくら・潮風王国	千葉県	南房総市	国道410号	既設	平成14年	一体型
富楽里とみやま	千葉県	南房総市	県道184号	既設	平成14年	一体型
おおつの里	千葉県	南房総市	県道185号	既設	平成16年	単独型
白浜野鳥崎	千葉県	南房総市	国道410号	既設	平成17年	単独型
和田浦WA・O!	千葉県	南房総市	国道128号	既設	平成24年	単独型



ていえん さと ほない きんじょう
道の駅「庭園の郷 保内」(新潟県三条市) 企画概要 <既設>

○地域の特性を活かした子育て世代応援事業及びインバウンド観光強化の実施



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
庭園の郷 保内	新潟県	三条市	国道403号	既設	平成28年度	単独型

提案のメニュー

子育て世代応援事業の強化

- ・緑を活かした子育てセミナーやワークショップの充実
- ・親子で参加できるガーデンイベントの開催
- ・そら植物園等と連携したイベントの開催
- ・液体ミルク、紙おむつの販売

保内の産業×子供(花育、木育)

- ・木や植物を活かした子供の遊び場の整備



地域の概要

- ①保内地域は国内有数の植木産業集積地
 →植木の品質とともに卓越した造園技術は県内外から高い評価を得ており、技術を活かした新たな事業展開の可能性を持っている。
- ②庭園をテーマとした道の駅
 →イベントやワークショップなどを通じて植物や土と触れ合う場を提供することが可能である。

子育て世代の女性を中心に安心して子供と楽しく過ごせる場の提供

- ・授乳室の設置
- ・子供連れに対応したスペースの整備
- ・トイレ内にベビーチェアの設置



インバウンド観光の強化

- ・外国人案内所機能強化
- ・外国人観光客向けワークショップなどの開催
- ・地場製品のPR、販売
- ・植木関連商品の開発、販売

道の駅の機能強化

施設の特徴を活かした独自の子育て支援

植木・庭に対する新たな需要喚起による地元産業の振興

<提案の先駆性・ポイント>

- 幼児・児童期の成長期に情操面の向上が期待され、取組が推奨されている花育や木育などを施設の特徴を活かした様々なワークショップやイベントにおいて先進的に実施することで独自の子育て支援を行う。
- 地場産業を活かした子育て支援により、これからの担う世代に対して庭や植物への関心や興味を持たせることで植木産業の新たな需要を喚起させ、地場産業の更なる振興を図ることができる。
- 外国人観光客向けワークショップやイベントを実施するとともに、植木に関連した商品を開発し販売する。

<実施内容>

- 親子で楽しめる地元産業を活かしたワークショップの充実
- そら植物園、保内園芸組合と連携したガーデンフェスティバルの開催
- 季節ごとに花や収穫が楽しめるガーデンを整備
- トイレ内にベビーチェアの設置
- 授乳室の設置
- カフェに子供連れに対応した小上がりスペースを整備
- ガーデン内に木や植物を活かした子供の遊び場を整備
- 施設インフォメーションの多言語化や外国語対応職員の配置
- 外国人観光客向けワークショップやイベントの実施
- 外国人観光客向けの植木産業を活かした新規商品の開発、販売

あつみはんとう な はな ろまんかいどう たはら

渥美半島菜の花浪漫街道「道の駅」ネットワーク(愛知県田原市) 企画概要 <既設>

- 日本風景街道「渥美半島菜の花浪漫街道」にある3つの「道の駅」が連携し、サイクリストの受入拠点、次世代観光の情報発信拠点としての整備を実施
- これにより日本風景街道第3次アクションプラン「自転車道の活用と整備」等を推進しナショナルサイクルルートの指定に向けた太平洋岸自転車道サイクリストの受入れや、インバウンド観光を促進

●日本風景街道「渥美半島菜の花浪漫街道」との連携
日本風景街道の取組(第3次アクションプラン)と連携し、「自転車道の活用と整備」、「道の駅を核とした情報の発信」等の推進をはかる。



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
①田原めつくんはうす【重点候補】	愛知県	田原市	国道259号	既設	平成4年度	単独型
②あかばねこステーション	愛知県	田原市	国道42号	既設	平成20年度	単独型
③伊良湖クリスタルポルト	愛知県	田原市	国道42号	既設	平成6年度	単独型

ナショナルサイクリストの受入れ環境整備

サイクルラック、多言語ルートマップ、レンタサイクル、荷物ロッカー・着替えルーム、サイクルステーション、Wifi など必要な施設の環境整備



体験型観光の情報発信・インバウンド観光促進

・次世代観光となる体験型観光を道の駅で情報発信(体験受付窓口を設置)
・3つの道の駅すべてJNTO登録インバウンド対応促進
情報通信機器を活用し3駅が連携した外国人案内対応を実施



体験型観光コースを道の駅で提案(受付窓口を設置、多言語にも対応予定)



<提案の先駆性・ポイント>

- 日本風景街道との連携: 風景街道アクションプラン「自転車道の活用と整備」、「道の駅を核とした情報の発信」を推進
- 自転車活用推進: ナショナルサイクリスト受入れ拠点整備
- 次世代観光情報発信拠点: 体験型観光博覧会「たはら巡り〜な」を展開する拠点として道の駅で情報発信(インバウンド対応含)


<実施内容>

- 3つの道の駅でナショナルサイクリスト受入環境(レンタサイクル、手荷物ロッカー、着替えスペース等)を整備
- 道の駅及び体験型観光の情報発信(体験受付窓口設置、SNS、インバウンド対応等)による周遊観光の促進
- インバウンド対応JNTO観光案内所の3つの道の駅での連携登録
- 日本風景街道大学田原キャンパスを開催し道の駅との連携を促進


道の駅「美浜(仮称)」(福井県美浜町) 企画概要 <新設>

- 2023年春の北陸新幹線敦賀開業を見据え、JR美浜駅前という立地を活かし、道の駅を拠点として美浜町の様々な情報を発信する。さらに、道の駅のみならず、JR美浜駅前を含む周辺開発も進め、一体的に地域活性化の拠点整備を図っていく
- 一時預かり機能を有する子育て交流施設を整備することで、子育て世代の育児環境を整え、人口減少に歯止めをかける
- 美浜町が誇るブランド「美浜熟成魚」や地元農産物等を活用した商品開発等に取り組み、第一次産業の推進を図る

産業振興に資する「道の駅」

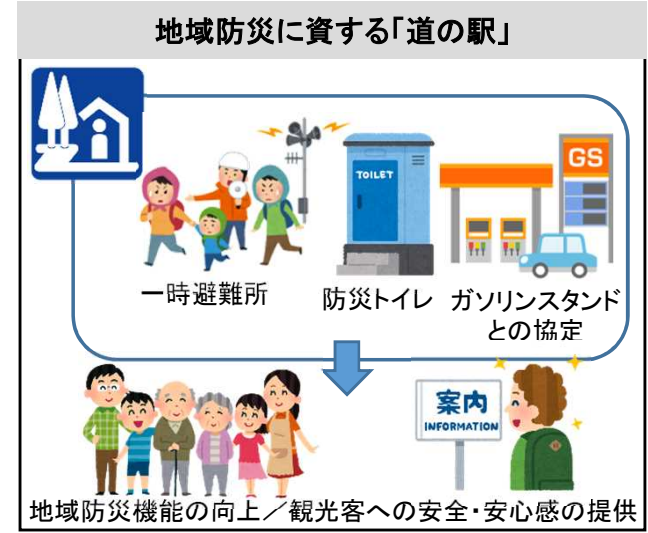
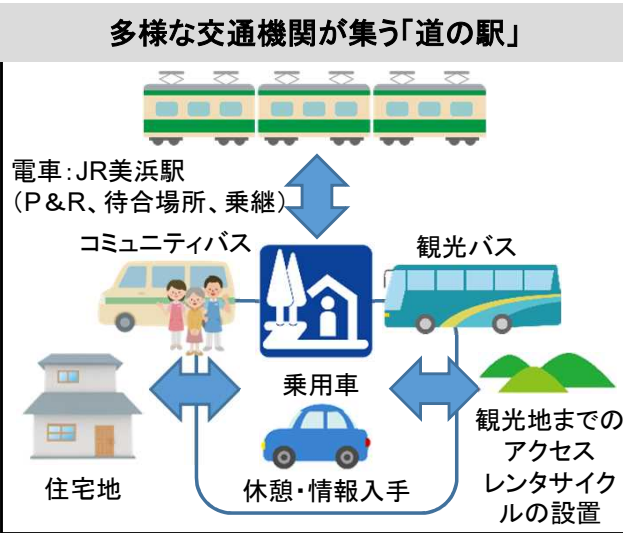


- ・地場産品を活用した新商品の開発
- ・生の顧客ニーズを反映させた商品展開
- ・定住移住相談窓口の設置による担い手の確保



次世代の担い手づくり

産業振興	交流	子育て支援	地域づくり			
地場産品を活用した新商品の開発	公共交通の中心部 二次交通の拠点整備	子育て支援環境の充実 婚活支援	民民の連携 地域防災の強化			
駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
美浜(仮称)	福井県	美浜町	国道27号	新設	令和4年度	一体型



<提案の先駆性・ポイント>

- 「ブランド」を活用した「シティーセールス」の実施
- 産業振興のための次世代の担い手づくりの推進
- 「ゲートウェイ」としての役割
- 子育て支援環境充実のための施設整備の推進
- UIターン型の起業を促すことによる定住移住の促進
- PFI事業により民間の経営能力や技術力(ノウハウ)を活用

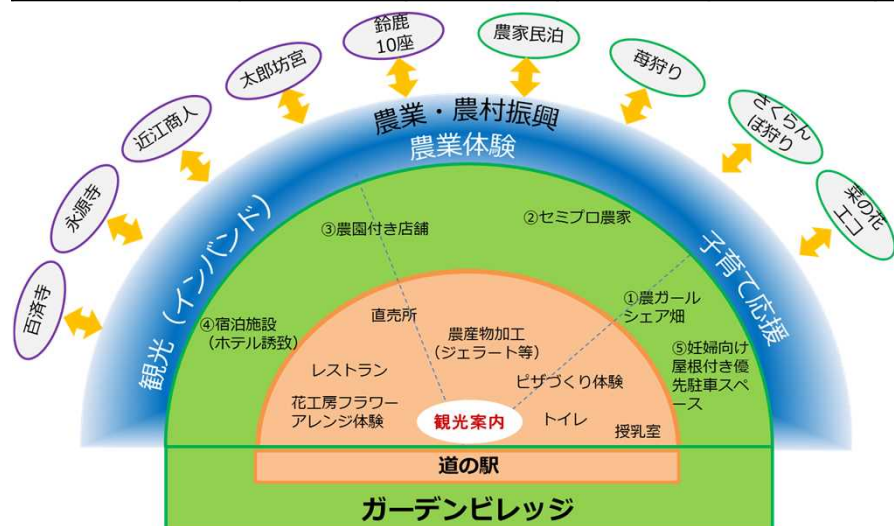
<実施内容>

- 地場産品を活用した新商品の開発・ブランド化を図り道の駅で販売、ふるさと納税返礼品として活用
- 人材育成型観光農園(道の駅周辺農地を活用)と連携した人材育成や特産品づくり及びDMOと連携した観光地づくり
- コミュニティバス運行ルートへ編入し、二次交通拠点整備
- 子育て交流施設、一時預かり機能、授乳室の整備、育児講習会等の実施
- 町内外から起業者を募り、町民にとって不可欠な生活利便サービスを提供

道の駅「あいとうマーガレットステーション」(滋賀県東近江市) 企画概要 <既設>

- 道の駅を核にした農業体験型「ガーデンビレッジ」によって、特色・魅力ある地域の拠点づくりを目指す
- 農業のレジャー化やイメージチェンジによって、新たな就農者(農業女子)の確保と交流人口を増大させ、農業・農村を活性化させる
- 道の駅を広域観光の拠点とし、農業・歴史・文化を体感できる観光のルート化によってインバウンド等の観光客を増大させる
- 農業体験メニューの充実により、親子がふれあい、土に親しみ、収穫の喜びや楽しさを感じることで子どもたちの感性や情操を育む
- 子育て支援機能を充実し、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進を図る

駅名	都道府県名	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
あいとうマーガレットステーション	滋賀県	東近江市	国道307号	既設	平成7年度	一体



<提案の先駆性・ポイント>

- 農業女子を増やすことで、農業に対するイメージを変え、子どもやファミリーが楽しめる農園の創出によって、地域農業の活性化や担い手確保が期待できる。また農業体験によって、子どもの感性や情操が育まれる。
- セミプロ農園によって直売所の活性化が図れ、新たな担い手の誕生が期待できる。
- 農業体験メニューの拡大によって、インバウンド等の観光客を増大させる。
- 通過型観光から道の駅の宿泊施設を拠点とした地域滞在型観光への移行が期待できる。
- 子育て世代を応援するため、安心・安全な環境づくり(専用駐車場整備)を行う。

<実施内容>

- 農業女子をターゲットとしたシェア畑の整備によって、農業女子の就業や子どもやファミリーの農業体験を促進する。
- 直売所の生産者拡大に向け、セミプロ型の市民農園を開設する。
- 周辺農地において農業者による農業体験メニューを拡大させる。
- 宿泊施設を誘致し、農業体験や市内観光施設との連携により、インバウンド等の観光客を増大させる。
- 子育て世代を応援するため、妊婦向け屋根付き優先駐車スペースを確保する。

道の駅「丹波おばあちゃんの里」(兵庫県丹波市) 企画概要

<既設>

次世代につなぐ拠点へ再整備 ~多機能型拠点を形成し、地方創生を実現~

- 基礎機能の向上を図り、ゲートウェイ機能を強化する
- ロードサイドホテルの誘致により、新たな来訪者(訪日外国人を含む)の受入を推進する
- 観光情報センターを整備し、北近畿・丹波市内の周遊観光を推進する。
- 恐竜遊具など「恐竜ちーたん公園」を整備し、親も子も楽しめる道の駅をめざす

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
丹波おばあちゃんの里	兵庫県	丹波市	国道175号	既設	平成18年	一体型



【丹波市の主な課題】
I.人口の減少 II.観光の基幹産業化

基礎機能の向上
 ・物産館の売場面積拡張
 ・フードレストランの新設
 ・駐車場の拡張
 ・高機能トイレの整備 等

新たな施設整備
 ・ロードサイドホテル
 ・観光情報センター
 ・恐竜ちーたん公園

交流人口、
比率の増加

観光消費額の拡大
移住、定住者の増加

地域経済の活性化

地方創生の実現

<実施内容>

- ロードサイドホテルの誘致、ドライバーをサポートするセルフチェック機器を備えたりフレックスルームの設置、ETC2.0「賢い料金」の推進、EV急速充電設備の設置
⇒【高速道路との連携】
- 丹波市を含む北近畿の地域・観光情報の発信、JNTOカテゴリーⅡ認定の観光情報センターを新設 ⇒【次世代観光拠点の形成】
- 施設の充実(恐竜ちーたん公園)、キッズルームの設置、コンシェルジュによる子供向け周遊観光プランの提供 ⇒【子育て応援】
- サイクルラックの整備。サイクリング愛好団体と連携し、高低差の少ない水分れ街道(シーニックバイウェイジャパン→氷上回廊[日本海と瀬戸内海をつなぐ帯状の低地帯])を通行するサイクリストのためのエイドステーション化 ⇒【風景街道・道守との連携】

<提案の先駆性・ポイント>

- 道の駅の近接に民間のロードサイドホテルを誘致し、24時間の観光情報発信を行い、広いエリアからのランドマーク的「道の駅」となる。
- 観光情報センターを新設し、広域の地域・観光情報の発信及び訪日外国人の受入体制を整備する。
- 丹波竜をモチーフにした遊具などを設置し、丹波竜化石工房など子供向け施設への周遊観光促進による子育て応援を強化する。

道の駅「高田屋嘉兵衛公園(仮称)」(兵庫県洲本市) 企画概要 <新設>

- 地域連携DMOとの連携により、日本遺産「北前船寄港地・船主集落」や御食国(みけつくに)淡路島の豊かな農水産物などの地域資源を活かした、周遊・滞在型観光、インバウンド観光を推進し、次世代観光拠点の形成を目指す
- 淡路島中央スマートICを活用した高速道路との連携により、淡路島西海岸観光のゲートウェイ機能を強化
- 「アワイチ(淡路島一周サイクリングルート)」のゲートウェイ施設として、サイクリストの快適で安心な利用をサポートする機能を集約
- ベビーコーナーや移住相談窓口の設置等により、子育て世代や移住希望者を応援

【地域の課題】

淡路島内の行政機関や道の駅は、概ね島の東海岸側に位置。西海岸の少子高齢化・人口減少は著しく、いち早く地域の活性化に向けた拠点形成が必要。



【対応案】

都市農村交流や高田屋嘉兵衛翁の顕彰を目的として設置された本公園を、地域活性化の拠点として再整備。



約10haの広い敷地に、江戸時代後期に活躍した廻船問屋「高田屋嘉兵衛」ゆかりの資料(日本遺産「北前船寄港地・船主集落」構成文化財)を所蔵する資料館をはじめ、公共の宿、温浴施設(天然温泉)、ログハウスやオートキャンプ場、芝生広場、遊具等の様々な施設が配置。

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
高田屋嘉兵衛公園(仮称)	兵庫県	洲本市	県道31号	新設	令和3年度	単独型

ー西海岸の地域振興と淡路島中央SICの活用ー

西海岸には、播磨灘に沈む夕日や、サワラや淡路ビーフ、たまねぎ等の食材、海水浴場や観光農園、カフェ等の観光資源が豊富。
本施設が拠点となり、淡路島中央SICも活用しながら、情報発信や特産品の販売等を実施。



西海岸の夕日

生さわら丼



ー子育て・田舎暮らし応援ー

ベビーコーナーの整備や遊具の設置・改修等により、子育て家庭にとってさらに居心地の良い公園に。
本市は民間の「子育て世代にぴったりの田舎」ランキング等で全国1位の実績有(※)。新たに園内に移住相談窓口を設置。



ベビーコーナー(イメージ)

すもとに 住もつと。
SUMOTTO
⇒洲本市田舎暮らし応援ウェブサイト「SUMOTTO」

ーサイクルツーリズムの振興ー

淡路島ロングライド150の開催など、サイクリストの人気の高まる淡路島において、宿泊施設等と連携して、滞在型で観光を楽しむサイクルツーリズムを推進。



サイクリング

ー環境学習の推進による地域活性化ー

園内で、嘉兵衛翁の愛した菜の花の搾油や、廃食用油から軽油代替燃料を製造するプロジェクトを実施。また、竹チップを燃料とするボイラーを温浴施設に設置している。



竹チップ焼きバイオマスボイラー

<提案の先駆性・ポイント>

- (一社)淡路島観光協会(地域連携DMO)と連携した情報発信、外国人観光案内所に関するJNTO認定(カテゴリー1)を目指す
- 淡路島中央SICを活用したモデル観光ルートの発信
- 高速バス停、宿泊施設、サイクルステーション、レンタサイクル等の各種施設・設備を組み合わせたサイクリスト受入
- 広い敷地と多様な施設を活かした子育て応援
- 国のバイオマス産業都市や次世代エネルギーパークにも認定されている洲本市の先進的な施設を活用した環境学習

<実施内容>

- 日本遺産「北前船寄港地・船主集落」や淡路島西海岸の魅力を集約した情報発信、特産品販売施設の整備
- サイクルステーションの整備とサイクリスト向け情報発信・宿泊受入等の推進によるサイクルツーリズムの振興
- 移住相談窓口の設置及びベビーコーナー、芝生広場や遊具等を活かした子育て世代への憩いの場の提供
- 竹チップ焼きバイオマスボイラーや廃食用油から軽油代替燃料を製造する装置等を活用した環境学習の推進による地域活性化

※株式会社宝島社発行の「田舎暮らしの本」における「第4回日本「住みたい田舎」ベストランキング」

道の駅「北条公園」(鳥取県北栄町) 企画概要 <既設>

- オートキャンプ場併設の県内唯一の道の駅としてアウトドアエリアを核とした地域振興、子育て応援、防災対応を実施
- 山陰道(北条道路)と国道313号北条JCTの開通に合わせた再整備により、鳥取中部地域の周遊拠点となる道の駅へ
- 高速道路を挟んだ南北双方の一体的な整備によりアクセスを容易に。防災・休憩拠点となる道の駅へ

アウトドアエリアを核とした地域振興、子育て応援、防災機能の充実

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
道の駅「北条公園」	鳥取県	北栄町	山陰道 国道313号	既設	平成5年度	単独型

<現状>

- ・オートキャンプ場を併設する県内唯一の道の駅として、これまで白砂青松の中のオートキャンプサイト、バンガロー宿泊等様々なアウトドア体験の場を提供

<再整備のポイント>

- ・既存施設に加え、バーベキュー棟、交流・多目的ゾーン等の整備により、デイキャンプ等様々なニーズに対応
- ・これらのアウトドア機能を子育て応援、防災等に活用
- ・農業地帯である同町の「砂丘地農業のめぐみ」を発信



【情報発信(道路情報・観光)】

- ・インバウンドも増えつつある中、鳥取中部の玄関口として同地域の観光情報を提供
- ・山陰道と国道313号の結節点に位置することから、東西南方向への詳細な道路情報を提供。山陰道東方面へは、チェーン装着を促す重要箇所として機能

【地域振興】

レストラン・販売施設とオートキャンプ場の連携により、質の高い地元素材を使った料理を手軽にアウトドアで楽しむことが可能



- ・砂丘地農業の恵みを存分に味わうレストラン・飲食施設
- ・新鮮な地元産野菜やブランド化された加工品を扱う販売施設
- ・上記の飲食物等をキャンプ場においても楽しめるサービスの提供

【子育て支援】

オートキャンプ場と道の駅の連携により、子育て世代の様々なニーズに合ったアウトドア体験を提供



- ・手ぶらでのアウトドアが可能なサービスの提供、雨天時でも快適に調理が楽しめるバーベキュー棟の整備
- ・キッズコーナーを休憩コーナーに併設
- ・24時間利用可能で、おむつ替え台、シンク、調乳専用機等を揃えた授乳室
- ・駅舎外に交流・多目的ゾーンを整備

【防災】

南北エリアの広大な敷地、キャンプ施設、駅舎施設等を活用し、防災拠点化を推進



- ・冬季に積雪の多い山陰地方にあって、南北双方の駐車場により、積雪時や事故発生時の速やかな車両待避が可能
- ・キャンプ場の設備・備蓄品、防災倉庫等の充実により、様々な災害に対応する防災拠点として整備
- ・道の駅の機能を止めることなく、災害派遣部隊の受け入れ基地として活用

【町内観光施設(青山剛昌ふるさと館)海外観光客推移】



<提案の先駆性・ポイント>

- オートキャンプ場を併設する県内唯一の道の駅として、アウトドアエリアを道の駅機能の核に
- ✓レストランや直売所との連携により、質の高いアウトドア料理を手軽に楽しむことが可能
- ✓駅舎機能の活用により子育て世代の様々なニーズに合ったアウトドア体験を提供
- ✓災害等発生時には、広大な敷地を活かした駐車場の確保や、キャンプ場施設(宿泊施設、調理場等)・駅舎施設(防災倉庫、トイレ、食料品等)の活用により防災拠点としての機能を発揮
- 冬季に積雪の多い山陰地方にあって、交通の結節点に位置し南北双方に駐車場を有する特性を活かし、車両待避場所・チェーンベースとしての活用を行う

<実施内容>

- アウトドア施設の拡充等により様々なニーズに対応したキャンプ場として整備
- 砂丘地の農産物を活用したレストランや、農産物・加工品販売所の整備
- 天候に左右されず遊べるキッズコーナーや交流・多目的ゾーンの整備
- 広大な敷地やキャンプ備品の活用、防災倉庫等の整備による防災拠点化
- 道路利用者のニーズに応じ、キャンプ場宿泊を含め様々な休憩手段を提供
- 山陰道と国道313号両方の交通情報、気象情報をリアルタイムに提供
- 観光情報の提供及び周辺の観光施設や体験型観光農園との連携

道の駅「いたの」(徳島県板野町) 企画概要 <新設>

- 日本版DMOであるイーストとくしま観光推進機構を活用した観光資源の発掘、訪日外国人観光客へのサポートなど、次世代観光拠点の形成を図る
- 徳島自動車道と高松自動車道の2つのICに近接した立地を活かし、高速道路の連結拠点と休息機能を有する
- 子育て支援を目的として各種サービスやベビーコーナー等の設置。高齢者、障がい者支援を目的とした各種サービスや福祉スペースの設置
- 広域拠点として地域防災計画に位置付け、災害時の広域避難場所や支援物資流通配給基地、また支援部隊等の支援基地としての機能、及び災害・ドクターヘリポートの整備など、防災「道の駅」への認定を目指す
- 農業者の所得向上と6次産業化や新たな作物づくりへの意欲向上により、農業の継続と発展を図り、次世代の育成を支援
- 自動車の次世代エネルギーとして、EV急速充電器及び水素ステーションの設置



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
道の駅「いたの」	徳島県	板野町	(主)徳島引田線	新設	令和3年	一体型

観光



観光総合案内所
イーストとくしま観光推進機構を活用



道の駅で観光案内
JNTOカテゴリーⅡの認定を目指す

産業



地域特産品の商品化や6次産業化・新たな作物づくりの推進、担い手確保



地産地消レストラン

<提案の先駆性・ポイント>

- 地域特産品の商品化や6次産業化推進
- ゲートウェイとして観光総合案内所によるインバウンド等観光促進、各道の駅とのネットワーク化
- ベビーコーナー等、子育て支援や高齢者、障害者等への地域福祉の充実
- 防災「道の駅」への認定を目指し、災害時の支援物資、支援部隊等の広域防災拠点としての整備
- 高速道路の利用者の休憩機能の確保、EV車等への充電等次世代エネルギー等の提供

<実施内容>

- 地産地消による6次産業化に向けた商品化や惣菜等の実演販売とレシピの配布、地産地消レストランの経営、次世代の担い手の育成・農業支援研修室により専門知識の習得
- DMOを活用し、インバウンド対応した観光案内所の設置と観光モデルルートの構築
- ベビーコーナー等、子育て支援、障がい者支援のためのスペースの整備
- 広域拠点として災害協定の締結・BCPの策定、災害支援物資や部隊受入基地、災害ヘリポート、飲料用貯水槽、防災トイレ及び非常食備蓄倉庫を設置
- 水素ステーションやEV急速充電器を設置、高速バス停留所の設置

道の駅「いたの」計画位置図

道の駅「くしま(仮称)」(宮崎県串間市) 企画概要 <新設>

- 交流イベントや子育て支援、道守等の地域活動との連携、地域団体のまちなか観光案内により、中心市街地の賑わいを創出するとともに、あらゆる世代が活躍・交流できる地域センター化を目指す
- 広域交通の結節点として、公共交通機能の集約と防災機能の強化を図る
- 周辺道の駅との交流・連携、サイクリングの拠点施設により、周遊観光の促進と新たな観光需要の拡大を目指す

次世代観光拠点の形成 隣接県の道の駅との交流、JNTO認定外国人観光案内所カテゴリー2を目指す	風景街道・道守との連携 風景街道・道守の地域活動の連携や清掃・緑化活動や市民交流を支援	高速道路との連携 バス等の発着拠点や、バスの運行情報の提供等、交通結節機能を強化	子育て支援 子育て世代の交流の場として、支援施設やサポート体制を充実させる	防災機能の充実 災害発生時の情報提供、避難場所の機能を確保。BCP策定や防災訓練。
--	--	---	--	--



駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
くしま(仮称)	宮崎県	串間市	国道220号	新設	令和3年	一体型



公共交通機能の集約と防災機能の強化

コミュニティバス路線図

・避難場所
・BCP策定、防災訓練等



<提案の先駆性・ポイント>

- 隣接市域を含めた交流イベントや子育て世代への支援を促進し、「子育てしやすいまち・住みよいまち」の拠点をを目指す。更に、風景街道や道守の地域活動との連携、地域団体によるまちなか観光案内等、あらゆる世代が活躍・交流できる地域センター化を目指す。
- 広域交通の結節点として、公共交通機能の集約と防災機能を強化する。
- 県境の道の駅として、隣接県の道の駅との交流・連携やサイクルツーリズムの促進により、周遊観光の促進や新たな観光需要の拡大を目指す。

<実施内容>

- 屋根付きイベント広場の整備及び市民団体と行政の協働によるイベントの開催。
- 24時間利用可能なベビーコーナーや妊婦向け優先駐車スペースを整備。
- 子育て支援コーナーや市民談話室などを備えた市民交流施設を整備。
- 道の駅を中心として市街地回遊ルートに、新たなモビリティサービスの導入を検討。
- 地域団体によるまちなか案内や、道守による清掃及び緑化活動を実施。
- 周辺地域や観光地域とを結ぶコミュニティバスの運行拠点としての機能を整備。
- コミュニティバスを道の駅へ集約し、バスロケを活用したバスの運行案内を行う。
- 道路利用者等の避難場所として機能を確保し、BCP策定や防災訓練を行う。
- 隣接県の道の駅との交流・連携、サイクリストへの休憩施設の提供や情報発信等。
- 風景街道団体や周辺道の駅と連携したサイクルツーリズム観光の拠点となるサービスを提供。

道の駅「都城」(宮崎県都城市) 企画概要 <既設>

「肉と焼酎のふるさと・都城」の物産振興拠点として、道の駅都城を大幅リニューアル

○物産振興と交流人口の拡大による地域活性化

○都城広域定住自立圏(3市1町)内の道の駅ネットワークを構築し、圏域全体の産業活性化

次世代観光拠点の形成

南九州の玄関口として、市内及び南九州一帯への周遊促進

JNTO認定外国人観光案内所カテゴリー2を目指す

風景街道・道守との連携

道守と連携した施設や沿道の清掃・植栽活動
風景街道への登録及び連携

高速道路との連携

都城IC近傍のロケーションを活かした休憩所
将来供用予定の地域高規格道路都城志布志道路のIC近傍のロケーションを活かした休憩所

子育て応援

子育て支援機能、子供向けスペースの整備
授乳室整備、おむつ個別販売
子育て世代向け育児相談会等の開催

物産振興を通じた産業振興の拠点



物産振興を通じて地域の稼ぐ力を強化

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
都城	宮崎県	都城市	国道10号	既設	平成13年	一体型

都城広域定住自立圏(※)内の道の駅ネットワーク構築

※3市1町で構成
宮崎県都城市
// 三股町
鹿児島県曾於市
// 志布志市



- 道の駅都城
- 道の駅山之口
- 道の駅たからべ
- 道の駅すえよし
- 道の駅おおすみ弥五郎伝説の里
- 道の駅松山
- 三股町物産館よかもんや

道の駅を核とした
物産交流、観光情報発信

圏域全体の産業活性化

<提案の先駆性・ポイント>

- 「日本一の肉と焼酎」をはじめとした物産振興を通じた産業振興の拠点
- 都城広域定住自立圏(3市1町)内の6つの道の駅及び1つの物産館で構成する道の駅ネットワークの構築
- 南海トラフ巨大地震等の発生時に、後方支援体制を構築するための機能強化

<実施内容>

- 既存(H13)の小規模の道の駅を大幅に拡大・リニューアル
- 物産販売、飲食提供、加工・料理体験、特産品開発支援、大都市圏への物産営業等
- ネットワーク内の各駅の物産を販売するとともに、観光情報の共有、各駅の紹介を通じた圏域内の周遊促進等
- 高速ICに近く内陸に位置することから南海トラフ地震時には、宮崎県南の沿岸市町への後方支援の防災活動拠点として機能
- 地元大学(園芸学部)や高校と連携した施設整備やアンテナショップ、花壇植栽整備を実施
- 林業や家具製造業など地域産業を活かした子育て支援施設を整備

令和元年度 重点「道の駅」候補 選定駅（15箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
1	北海道	上士幌町	かみしほろ	<ul style="list-style-type: none"> ○ODMO・周辺「道の駅」・日本風景街道と連携し、広域的な観光情報を発信 ○都市と農村の交流による移住定住のワンストップ窓口を設置し、地域へ活力を誘導 ○交通結節化による定住環境の構築や地域交流の場の創設
2	北海道	余市町	(仮称)よいち	<ul style="list-style-type: none"> ○PFIIにより移転・リニューアルし、高速道路との近接性を活かした休憩機能を充実するとともに、ゲートウェイ・観光ハブ拠点を整備 ○マイカー・レンタカーから路線バスへの乗り換えなど、新たな交通結節点となる地域コミュニティハブ施設を整備
3	北海道	中札内村	なかさつない	<ul style="list-style-type: none"> ○観光協会事務所を移転集約、観光案内窓口の一元化や、多言語対応等によるインバウンド受入体制を整備し観光案内機能を強化。 ○観光協会やシーニックバイウェイ(日本風景街道)と連携し、広域的な次世代観光拠点を形成 ○子育て応援施設を設置するとともに、若い世代・学生が気軽に立ち寄り、買い物・飲食を楽しむ空間づくり
4	群馬県	みなかみ町	みなかみ水紀行館	<ul style="list-style-type: none"> ○ユネスコエコパークに認定されたみなかみの豊かな自然を生かした水上地区観光の魅力の向上 ○情報発信を充実し、インバウンドに対応したサービス提供を強化 ○かわまちづくり協議会やゆけむり街道ルート委員会との連携や、民間事業者・DMOを中心とした拠点施設の魅力向上
5	群馬県	前橋市	(仮称)まえばし	<ul style="list-style-type: none"> ○PFII事業を導入し、早期段階から民間事業者のノウハウを活用 ○ODMOとの連携により、インバウンド対応を含めた次世代型観光拠点の整備 ○地元事業者と連携し6次産業を育成、トリジェネレーションへの取組により次世代型農業を推進
6	新潟県	長岡市	ながおか花火館	<ul style="list-style-type: none"> ○「長岡花火」をけん引役に魅力ある地域資源情報を発信・連携を強化し、地域全体の広域観光・活性化を促進 ○国道や高速道路からの好立地を生かし、情報発信のゲートウェイ形成や高速道路の休憩施設を補完
7	長野県	木曾町	日義木曾駒高原	<ul style="list-style-type: none"> ○木曾駒ヶ岳の眺望を活かし、飲食施設など観光客や地域住民に憩いの場を提供 ○風景街道「こころのふるさと“木曾路”中山道」やDMOと連携し、地域の観光拠点として活用 ○物販(地域スーパー)機能の充実や高齢者ふれあいサロンの整備など、高齢者が気軽に立ち寄れる小さな拠点を形成
8	大阪府	河内長野市	奥河内くろまるの郷	<ul style="list-style-type: none"> ○AIコンシェルジュ配置や観光ハブ化、広域観光情報の発信により、ゲートウェイ型ハブ拠点の整備 ○ウェルネス、生活スタイルに沿った施設機能を強化するとともに、デジタルサイネージの活用や電動自転車充電ネットワーク構築による次世代観光拠点の整備
9	兵庫県	猪名川町	いながわ	<ul style="list-style-type: none"> ○PFIIにより移転・リニューアルし、子育て支援や温浴施設の整備など、施設機能を充実 ○高速道路とのアクセス性を生かし、町内外の利用を促進 ○サイクルステーション等の整備、観光情報発信の強化により、風景街道・道守との連携を強化 ○観光ツアーの起点として、インバウンド・次世代観光拠点を形成

令和元年度 重点「道の駅」候補 選定駅（15箇所）

番号	都道府県	市町村	道の駅名	企画の概要
10	兵庫県	南あわじ市	うずしお	<ul style="list-style-type: none"> ○サイクルステーション、大鳴門橋自転車道との一体的整備より、四国サイクリングルートとの広域連携を図りサイクルツーリズムを推進 ○施設リニューアルや地域連携DMOと連携した観光情報の発信、インバウンド受入体制・情報発信の強化により次世代観光拠点を形成 ○駐車場不足に対応し、離れた駐車場との移動手段としてグリーンスローモビリティを導入
11	広島県	福山市	アリスト ぬまくま	<ul style="list-style-type: none"> ○地元生産者や企業と連携し、瀬戸内の柑橘や水産物等の6次産業化を推進 ○鞆町山側トンネルやサイクリングロード等の整備を起爆剤にインバウンドにも対応した観光ルートを形成し、情報発信・交流による観光の拠点化
12	鳥取県	日南町	にちなん 日野川の郷	<ul style="list-style-type: none"> ○道の駅を中核にまちを再生するコンパクト・ビレッジを形成、町内全体をつなぐ着地型観光の拠点を形成 ○道路利用者と町民が交流し、新たな産業を創出する拠点を形成
13	福岡県	宗像市	むなかた	<ul style="list-style-type: none"> ○市内外の観光情報の一元化、風景街道との連携により周辺資源の景観、自然、歴史を発信、インバウンドにも対応した情報発信拠点を形成 ○子育て支援施設を充実し、「子育て世代の拠点化」を形成
14	福岡県	久留米市	くるめ	<ul style="list-style-type: none"> ○地域内大規模の集客施設を活用し、「人・モノ・カネ・情報」の循環を生み出すハブ施設にリノベーション ○大型屋根の整備、交流研修室の建替等により、「交流・地域情報の受発信拠点」としての機能強化 ○交流拠点、農産物の販売所の拡充、農業体験や観光情報などの総合窓口、災害時の避難所などに活用
15	大分県	豊後大野市	みえ	<ul style="list-style-type: none"> ○「ジオパーク・エコパークのまち」の中心拠点として、情報発信を充実 ○道の駅を道守・風景街道の活動拠点として活用し、多様な世代間の交流を促進 ○子供を中心とした交流空間を充実し、子供の交流促進と子育てに関する情報を発信 ○南海トラフ巨大地震に備えた地域防災拠点として整備

<参考>令和元年度重点「道の駅」公募概要

公募概要

- 地方創生や地域活性化の拠点の形成等を目指した「道の駅」の新たな設置、又はリニューアル等の企画提案を公募
- 優れた企画があり、今後の重点支援で効果的な取組が期待できるものを選定

公募期間と選定の流れ

- 令和元年8月8日(木)～11月8日(金)

企画提案書の提出

各地方整備局等から推薦

企画提案の評価・選定
(有識者意見を踏まえ実施)

重点「道の駅」の選定

- 重点「道の駅」は全国で15箇所、
重点「道の駅」候補は全国で15箇所を選定

支援内容

<ハード的な支援>

- 道路区域内の駐車場、休憩施設、トイレ、道路情報提供施設等は、社会資本整備総合交付金(直轄国道以外)及び交通安全施設等整備事業(直轄国道)の重点配分等により国交省が支援

<ソフト的な支援>

- 自治体・関係機関による協議会を設け、複数の関係機関の制度の活用等について、ワンストップで相談できる体制を構築。

選定にあたり優先的に評価する事項

- 重点「道の駅」候補からの企画提案
- 以下に関する企画提案
 - ・次世代観光拠点の形成(DMOとの連携、インバウンド観光)
 - ・風景街道・道守との連携
 - ・高速道路との連携
 - ・子育て応援
- 完成年が古い駅のリニューアル

その他

- 計画的な企画検討を促進する観点から、今後も毎年、公募を実施することを予定